

平成30年度

「別子中学校学び創生事業」の取組の様子



学び創生

3年間を通じて学力向上を図りながら、未来に繋がる「知・徳・体」を備えた全人教育を目指している。基礎学力の確実な定着と、重点学習教科「英語・数学・理科」の充実を目指して、子どもたちが学習できる体制を整えている。



■ 特色ある教育課程 ■

- ① 月曜日～木曜日は、7時間授業。
- ② 金曜日は、4時間授業。(13時30分頃の地域バスで帰省)
- ③ 大幅な授業時数の増加
 - ・英語(3年間で200時間増)
 - ・数学(3年間で53時間増)
 - ・理科(3年間で52時間増)
 - ・総合(1年時に、10時間増)

■ 立志寮(寄宿舎)での学習 ■

- ① 月曜日～木曜日は、各生徒の個室で毎日3時間の学習時間を設定
- ② 英語検定前1か月間は、第1学習時間に食堂で約1時間の英検対策学習を実施
- ③ 毎週木曜日は、第1学習時間にALTによる英語学習を実施

特色ある授業

少人数による学習を生かし、じっくり考えて一人一人が自分の考えを述べる場面を授業の中に多く取り入れている。全ての教科で個別指導、プレゼン能力の伸長に取り組んでいる。

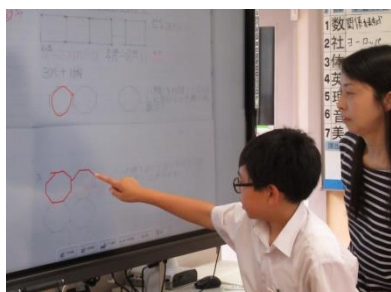


■ 総合的な英語力の育成 ■

- ① 入学時から英語の授業は、ほぼ英語で実施
- ② 英語の授業は、すべてALTと英語科担当教員によるTTを実施
- ③ 卒業までに、全員が実用英語検定の準2級、又は2級の取得を目指す。
(現在、15名中、2級3名、準2級3名、3級5名、5級4名 取得)

ICT機器の活用

- ① 全ての学級と理科室に電子黒板を設置し、生徒数分のタブレット端末を整備
- ② ICT機器とデジタル教科書を併用した授業を多く実施
- ③ タブレット端末を使った課題の解決（立志寮でも使用可）



総合的な学習の時間「地域を知る」「地域に学ぶ」「地域を発信する」

- ① 別子銅山近代化産業遺産について調べ、銅山峰登山をしながらガイドする。
（ふるさと学習 ★親子登山★）
- ② 新居浜太鼓祭をモチーフにした和太鼓演奏『新居浜勇太鼓』を練習・発表する
- ③ 生徒会活動とタイアップして、学校・地域各所の美化活動の実施
- ④ 国際理解教育で、世界の国々と日本との関係を調べて発表する。



寮生活

寮生が集団として自主・自律的な生活を送り、中学生らしい自治的運営につなげる。生徒から寮長・副寮長を選び、寮生による話し合い機関として寮生会を設置している



自主的、自立的な集団生活

- ① 毎月一回寮生会を開き、寮生活で出てきた課題の解決方法を話し合う。
- ② 身の回りの整理整頓、洗濯、自室の掃除、時間管理を行う。

地域との合同行事 地域行事

一年を通して、地域・学校の合同行事と地域行事、地域体験活動あり、それらを教育的に活用している。



- ① プール清掃【合同】（6月）
- ② 魚つかみ大会【地域行事】（8月）
- ③ 別子山秋季大運動会【合同】（9月）
- ④ ゆらぎ宿泊体験・星空観測（1年生）【地域】（10月）
- ⑤ 山城神社祭り【地域】（11月）
- ⑥ 別子校区産業文化祭【合同】（11月）

その他



部活動

- ① 全員が男子卓球部、女子卓球部に所属し、体力づくりと協調性を磨いている。
- ② 県内でも数少ない冷暖房完備の体育館で活動をしている。

体験活動等

- ① 大洲青少年交流の家での宿泊活動（1年生）：【7月ごろ】
- ② 修学旅行（2年生）：京阪神方面へ2泊3日で実施。英語圏の学生が多く宿泊するユースホテルに宿泊して英語を使っでの交流を図る。【10月】
- ③ 働く人に学ぶ（1年生）：別子山地域等で働く人々を尋ねて、働く意義について学ぶ。
- ④ 職場体験学習（2年生）：平成31年度よりは5日間実施。（平成30年度は3日間実施）。できる限り個人の希望に沿った職場での勤労体験を実施する。